



島根県立盲学校

所在地 〒690-0122 松江市西浜佐陀町468

電話番号 (0852) 36-8221

FAX番号 (0852) 36-8222

Eメール mo-gakko@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス <http://www.shimanet.ed.jp/moh/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一障がい 1学級

重複障がい 1学級

保健理療科 単一障がい 1学級

重複障がい 1学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 2名 (H28.5.1現在)



男子 2名

女子 0名

* 学校の特徴 *

視覚障がいを有する人に対して専門教育を行う、県内唯一の教育施設です。

通学が困難な人のために、寄宿舎も設置しています。

○入学資格

- ・両眼の視力が矯正で概ね0.3未満の人
- ・視力以外の高度な視機能障がい(視野狭窄など)があり、文字や図形などの認識が困難な人

○教育目標

児童生徒の障がいの状態と、能力・適性等を十分考慮した教育を行い、一人一人の人格形成に努めるとともに、自立と社会参加をめざす人間を育成する。

○学校の歴史

明治38年(1905年)、福田与志先生により松江私立盲啞学校として創立され、島根県における特別支援教育の先駆けとなりました。その後、昭和23年(1948年)、ろう学校と分離し、視覚障がい教育の専門校として現在に至っています。

○教育課程の特徴

小学部、中学部、高等部(普通科、保健理療科)、専攻科(理療科、保健理療科)があり、一人一人の障がいに応じた学習に取り組んでいます。また「自立活動」では、歩行や点字、弱視レンズの使い方等を学習することにより、自立し社会参加する力を身に付けます。

【高等部普通科】高等学校普通科に準ずる教育を行っています。また、一人一人の実態に応じて教育課程を編成した学習も行います。

【高等部保健理療科】あん摩、マッサージ、指圧の職業教育を行っています。普通科目に加えて、解剖学やあん摩実技などの専門科目を学習します。全ての単位を修得すると、あん摩マッサージ指圧師国家試験受験資格を得ることができます。

○主な行事

5月:開校記念式

6月:体育祭、中国地区盲学校連盟行事、中国・四国地区盲学校弁論大会

10月:学園祭

11月:福田与志先生追悼会

3月:旅立ちを祝う会

○部活動

〈運動部〉卓球・STT…中国・四国地区盲学校体育大会に参加

〈音楽部〉器楽・合唱…学園祭等に参加



運動部 サウンドテーブルテニス(STT)



島根県立 松江ろう学校

所在地 〒690-0121 松江市古志町191-6
 電話番号 (0852)36-7222
 F A X 番号 (0852)36-7223
 E メール matsurou@edu.pref.shimane.jp
 HPアドレス <http://www.shimanel.ed.jp/matsurou/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一障がい 1学級
 重複障がい 1学級

産業技術科 単一障がい 1学級
 重複障がい 1学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 7名 (H28.5.1現在)



* 学校の特徴 *

概要

- ・明治38年に開校し、平成27年には創立110周年を迎えた歴史ある学校です。
- ・聴覚障がいをもつ子どもたちに対して専門教育を行うとともに、一人一人の教育的ニーズを把握し、社会自立に必要な力の育成に努めています。
- ・幼稚部、小学部、中学部、高等部、専攻科（産業工芸科、生活デザイン科）までを設置し、寄宿舎も併設しています。学校給食があります。
- ・高等部には、普通科と産業技術科があり、教科学習や体験的な活動を通して、社会自立、職業自立、自己実現を目指しています。

高等部重点目標

- ①個に応じた学習指導の実践
- ②自ら考え行動しようとする生徒の育成

各科の特色

【普通科】進学希望の生徒に対し、確かな学力を養います。2年次から進路志望に応じたコース選択ができます。

【産業技術科】二つのコース（産業工芸・生活デザイン）があり、専門教科（工業・家庭）の学習とともに、就職に必要な基礎知識・一般教養を学びます。

学校行事

1学期の体育祭、2学期の松ろう祭（学園祭）は全校で行う活気ある行事です。進路に関する見学等のできる修学旅行があります。他校等との交流も積極的に取り組んでいます。また、夏休みを利用して、就業体験を実施しています。自分自身の将来や働く力について見つめる機会としています。

部活動

- 【運動部】陸上部・卓球部
- 【文化部】美術部・太鼓部

各種資格取得

英語検定、漢字検定、読字力検定、ビジネス文書実務検定、被服技術検定、食物技術検定等多くの資格に挑戦しています。



産業技術科校外作品展(1月)



島根県立 浜田ろう学校

所在地 〒697-0003 浜田市国分町342-2
 電話番号 (0855) 28-0146
 教育相談直通 (0855) 28-3933
 F A X 番号 (0855) 28-2063
 E メール hamadarou@pref.shimane.lg.jp
 HPアドレス <http://www.shimamet.ed.jp/hamarou/>

●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

美術工芸科 単一障がい 1学級
 重複障がい 1学級

被服科 単一障がい 1学級
 重複障がい 1学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 3名 (H28.5.1現在)



* 学校の特色 *

○校訓

明るく (健康・明朗性)
 なかよく (協調・社会性)
 たくましく (自立・自主性)

○学校教育目標

『自ら考え、自ら判断し、自ら行動する、心豊かにたくましく社会で生きる自立した人間の育成』

○めざす学校像

- ・子どもたちが、自己の可能性を最大限に伸ばし、自己実現のできる学校
- ・聴覚や視覚に障がいのある子どもたちに、障がいの状況や発達段階に応じた的確な指導や支援ができる学校
- ・高い専門性に基づいた教育の実践と、地域の特別支援教育に対する中心的役割を担う学校



●その他

- 本校では、幼稚部から高等部までの一貫教育を行っています。教育活動においては、学部の枠を超えた活動も取り入れるなど、望ましい集団づくりを目的とした教育にも取り組んでいます。

・主な全校行事

春季交流フェスティバル(5月)
 秋季交流フェスティバル(10月)

- ・本校高等部は、中学部と一緒に修学旅行、スキー実習、地域の方との手話交流等の学部行事を実施しています。

- ・教科学習においては、学習内容や個々の生徒のニーズに応じて、個別または集団の授業形態で行っています。

・生徒会活動

小学部から高等部までが共に活動し、行事の企画等を協力して行います。

・部活動

卓球部に所属して日々練習に取り組んでいます。毎年、夏・秋に開催される中国地区及び全国のろう学校体育大会、その他、高校総体や高校新人戦に出場しています。



島根県立 松江養護学校

(本校(川津校舎・乃木校舎)、安来分教室)

《川津校舎》〒690-0823 松江市西川津町31
TEL(0852)26-6880 FAX番号(0852)26-6871

《乃木校舎》〒690-0046 松江市乃木福富町733-2
TEL(0852)21-3673 FAX番号(0852)28-5755

《安来分教室》〒692-0031 安来市佐久保町115
TEL(0854)22-2680 FAX番号(0854)22-2681

Eメール matsueyogo@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス <http://www.shimamet.ed.jp/matsueyogo/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

【本校(川津校舎・乃木校舎)】※入学時にコース選考あり

普通科 単一障がい 5学級

重複障がい 11学級

【安来分教室】

普通科 単一障がい 1学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 173名 (H28.5.1現在)

(川津)	男子 73名	女子 25名
(乃木)	男子 42名	女子 17名
(安来)	男子 10名	女子 6名

* 学校の特徴 *

(1)目標

自立を目指し、「生きる力」を培い、豊かな人間性を育む。

*高等部では、一人一人のニーズに応じた「働く力」「生活する力」「人とかかわる力」の育成を目指します。

(2)学習

将来の自立した生活を目指して、課題解決・体験型の学習を中心に行います。

作業学習 働く上で必要な態度・技能を身に付ける高等部の中心な学習です。

進路学習 よりよい自己理解や進路選択をしていけるように、進路学習を3年間通じて行います。

現場実習 各学年で福祉施設や一般事業所に出かけ、産業現場における実習(現場実習)を行っています。

自立活動 自分の強みも弱みも知り、自己理解・自己受容をベースにした、より実践的なコミュニケーション能力を身に付けるための学習をします。

(3)職業教育の特色

【川津校舎:総合コース】

集団の中で一人一人に合わせた学習を行います。ものづくり系の作業内容を中心とした作業学習を7つの班に分かれて行い、働く上での基本的な態度や技能を身につけます。地域での販売会(ワークアップ松養)も行っています。

【乃木校舎:職業コース】

集団の中で職業自立を目指した学習を行います。食堂(昼食販売)、清掃(洗車、清掃)、服飾雑貨(製造・仕入れ販売)、流通(コンビニ)の店舗を営業し、地域の方を対象にサービス系の実践的な学習に取り組んでいます。働く上でのより専門的な態度と技能を身につけます。

平成29年度より農産加工班(仮称)による惣菜製造や製パンも行う予定です。



【安来分教室:地域密着!!の作業学習】

安来高等学校内に開設されて以来、「地域密着!!」を掲げて職業教育を行ってきました。菓子製造業の営業許可のある実習棟では、安来特産の梨やトマトを使ったジャムや製菓製品を作り、地域に出て販売したり、喫茶を運営したりしています。

また、2年生からデュアルシステムを導入し、地域の職場で、より働く生活に近い現場実習を行っています。



島根県立 出雲養護学校

(本校 邇摩分教室 雲南分教室)

《本校》〒699-0822 出雲市神西沖町2485
 電話番号 (0853) 43-2260 FAX番号 (0853) 43-1246
 Eメール izumo-yogo@edu.pref.shimane.jp
 HPアドレス <http://www.shimane-net.ed.jp/izumoyougo/>
 《邇摩分教室》〒699-2301 大田市仁摩町仁万907
 電話番号 (0854) 88-9060 FAX番号 (0854) 88-9061
 Eメール nima-bun@edu.pref.shimane.jp
 《雲南分教室》〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋1212-32
 電話番号 (0854) 45-0388 FAX番号 (0854) 45-5655



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

【本校】普通科 単一障がい 3学級
 重複障がい 9学級
 肢体不自由 1学級

【邇摩分教室】普通科 単一障がい 1学級

【雲南分教室】普通科 単一障がい 1学級

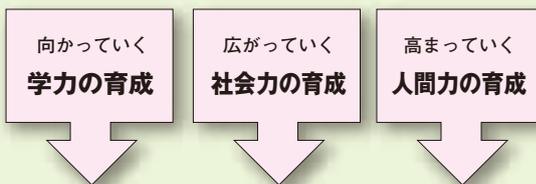
※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 168名 (H28.5.1現在)

(本校)	男子 85名	女子 58名
(邇摩)	男子 5名	女子 7名
(雲南)	男子 5名	女子 8名

* 学校の特徴 *

学校重点目標



本校高等部重点目標

- ①自ら学び考える力をもとに、主体的に実践できる力の育成
- ②集団の中で、より良い人とのつながりを持つ力の育成
- ③自分や周囲の人たちを大切に思い、共に支え合う生きる力の育成

*1~3年の縦割りの学習もあり、学部全体がアットホームな雰囲気です。

*寄宿舎があります。(定員：男女とも24名)

高等部の学習

将来の自立や就労に向けた学習に取り組んでいます。(以下、本校の例)

○各教科等を合わせた学習

作業学習(週当たり9~11時間)

作業班…総合作業、製菓、木工、リサイクル、窯業、クリーンサービス、食堂サービス、農業・加工

生活単元学習(週当たり3~6時間)

生活に結びつく内容の合科的な学習

○教科別の学習(週当たり各1~3時間)

国語、数学、社会、音楽、美術、家庭、保健体育 など

○総合的な学習の時間(週当たり3~4時間)

「働くこと」につながる内容の学習

○自立活動(週当たり1時間)

障がいや特性などからくる課題を克服するための学習

○その他

現場実習…生徒の実態に応じ、福祉施設や一般企業等において職業体験を行う学習(年2回程度、1~2週間ずつ実施)



クリーンサービス班 校外作業の様子



島根県立 石見養護学校

所在地 〒696-0102 邑智郡邑南町中野2384-18

電話番号 (0855)95-0319

FAX番号 (0855)95-0291

Eメール iwami-yogo@edu.pref.shimane.jp

HPアドレス <http://www.shimanet.ed.jp/iwamiyogo/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一学級 3学級

重複学級 3学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 26名 (H28.5.1現在)



* 学校の特色 *

○本校の目指す児童生徒像として

「明るく 元気で たくましく生きる人」
を掲げ、体験的な学習や実習等を通じて地域の人や仲間とのふれあいの中で学び合います。

○中国山地の山間部に位置する少人数の学校(小学部7名、中学部10名、高等部26名 H28.5.1現在)で、小学部から高等部まで児童生徒同士の活動の姿がよく見える学校です。

○本校は、「福祉の町」邑南町の『四ツ葉の里』という福祉ゾーンの中にあり、近隣の障がい者施設(緑風園・くるみ邑美園・愛香園)と連携し、現場実習や行事等を行っています。

○特別教室棟では、作業学習で使用する作業室や、宿泊学習やグループホームでの生活が体験できる宿泊訓練室等、充実した学習環境が整っています。

●特色ある学習

- ①作業学習：週12時間設定しています。将来、社会で働くために必要な力を付ける学習を行っています。【園芸・製菓・木工・窯業の4班】
- ②進路学習：職業や社会生活についての自己選択、自己決定を拡充し、主体的な社会参加に向け学習しています。(自分を知る、将来について、様々な制度について学ぶ、余暇活動等)
また、障がい者技能競技大会(アビリンピック)等にも参加し、各種技能の向上にも取り組んでいます。
- ③現場実習：年間2回 3週間(1年生は1~2週間ずつ)町内や出身地域の企業・福祉施設等での体験実習を行います。
- ④地域とつながった学習活動
地域の社会資源を活用した授業を積極的に行っています。町内の道の駅やショッピングセンターで作業製品の販売や、地域に出かけてのボランティア活動に取り組んでいます。また、町内の金融機関、公民館、健康センター等で作品展を開催し、理解啓発も行っています。
- ⑤部活動等：陸上・卓球の2つの部活動があります。



地域での草刈り作業の様子



島根県立 浜田養護学校

所在地 〒697-0003 浜田市国分町342-2
 電話番号 (0855)28-2200 (寄宿舎:28-2860)
 F A X 番号 (0855)28-2201
 E メール hamadayogo@pref.shimane.lg.jp
 HPアドレス <http://www.shimanet.ed.jp/hamadayougo>

●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一障がい 1学級
 重複障がい 3学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 50名 (H28.5.1現在)



* 学校の特徴 *

(1)教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて適切な教育を行い、生きる力や豊かな人間性を育成する。

(2)校訓

明るく(健康・明朗性)
 仲よく(協調・社会性)
 力いっぱい(自立・自主性)

(3)教育方針

- 一人一人を大切にする教育を実践し、意欲的・主体的に活動する児童生徒の育成に努める。
- 保護者との共通理解の基に、協働して関係諸機関及び地域社会との連携を深め、個に応じた進路保障に努める。

(4)本校のめざす子ども像

「なかまとともに、より主体的に生きる子」



●高等部の教育

【基礎コース(1年)】

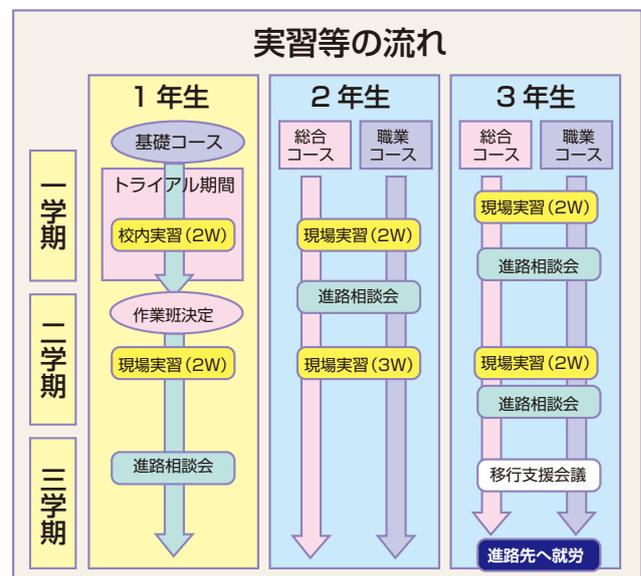
社会生活・職業生活の基礎となる基本的な学習内容の定着を図ることで、生活や就労への自信を高める。

【総合コース(2・3年)】

一人一人の生活や就労のニーズに応じた段階的な学習に取り組むことで、社会人として豊かに就労生活を送ることができる力を高める。

【職業コース(2・3年)】

一般就労を目指し、就労先の求める知識・技能・態度を身に付けるための専門的な学習に取り組むことで、職業人としての資質向上を目指す。





島根県立 益田養護学校

所在地 〒699-5132 益田市横田町2120番1
 電話番号 (0856)31-5111
 F A X 番号 (0856)31-5114
 E メール masuda-yogo@edu.pref.shimane.jp
 HPアドレス <http://www.shimanet.ed.jp/masudayougo/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

【知的障がい教育】

普通科 単一障がい 2学級
 重複障がい 1学級

【肢体不自由教育】

普通科 重複障がい 1学級
※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 53名 (H28.5.1現在)



* 学校の特色 *

本校は、益田・鹿足圏域に唯一の特別支援学校として、平成12年に開校しました。知的障がい教育と肢体不自由教育の二つの部門があり、障害のある児童生徒の教育的ニーズに対応した教育を行っています。

教育目標

児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を行い、『自分から』『力を合わせて』『元気いっぱい』豊かな人間性を培い、心身ともに健康で夢と希望に向かって、社会で生き抜く力を育成する。

めざす児童生徒像

- ()内は高等部の生徒に具体的にめざす姿
- 主体的、意欲的に活動する子
(自分で考え、進んで行動する)
- 思いやりのある優しい心を育み、力を合わせて共に伸びようとする子
(自分も仲間も大切に)
- 基本的な生活習慣を身につけ、働くことや体を動かすことを大切にする子
(働くための元気な心と体をつくる)

●高等部の教育

教育課程

生徒個々の教育的ニーズや実態に応じて、教科学習や「自立活動」「生活単元学習」「作業学習」等の教育課程を編成します。

進路学習

3年間を見通した進路学習の年間計画に基づいて、外部講師を招いた学習や、働く上で基本となる知識やマナーを生活単元学習などで学習しています。

週2日の作業学習では、5つの作業班(清掃・サービス班、農産加工班、園芸班、食品加工班、工芸班(木工、窯業))に分かれ、それぞれの作業を通して社会で働くための基礎的・発展的な力を培っています。

年間3回、各2週間の現場実習で、実際の職場を体験して働く力の向上を図るとともに、職業適性などの自己理解を深め、生徒個々に応じた就労を目指します。

部活動

サッカー部 陸上部 卓球部 軽スポーツ部
 美術部 音楽部

主な高等部の行事

現場実習、作業製品販売会、校外学習
 宿泊学習、修学旅行、親子行事など

施設・設備

温水プール、宿泊学習棟



作業学習(清掃・サービス班)



島根県立 隠岐養護学校

所在地 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町363

電話番号 (08512)2-3593

FAX番号 (08512)2-3142

Eメール okiyogo@pref.shimane.lg.jp

HPアドレス <http://www.shimane.ed.jp/okiyougo/school/>



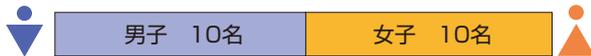
●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一障がい 1学級

重複障がい 1学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 20名 (H28.5.1現在)



* 学校の特徴 *

○学校教育目標

「児童生徒一人一人の障がいや発達に即した適正な教育を行い、仲よく、明るく、たくましい人間への成長発達をめざす。」

○教育内容の柱

- ・健康な身体づくりと基本的な生活習慣の確立
- ・自分の意思を表現し、主体的にかかわっていこうとする力の育成
- ・集団的な活動をとおして、他者と協力・協働・共同・協同する力の育成
- ・自立に向けての生活力や働く力の形成

○校訓

「仲よく 明るく たくましく」

本校は、昭和54年4月、「隠岐の子の教育は隠岐で」という地域や保護者の願いを受けて、隠岐でただ一つの特別支援学校として開校しました。平成8年には高等部も設置されました。

また、離島にある小さな特別支援学校として、特に地域に開かれた学校づくりに取り組んでいます。全校生徒23名ですが、運動会や隠岐養護まつり、学習発表会などの行事を始め、様々な学習活動を通して、小・中・高等学校や福祉施設、地域との交流を行い、多くの方々とのかかわりを深めています。

●その他

本校高等部は、健康や体力の維持・増進を図ること、社会参加、自立を目指して生活する力と働く力を育てることを目標に、校内だけでなく地域社会に出かけ様々な集団の中で活動しています。

○主な学校行事・学習活動

- ・隠岐なかよし大運動会(島前・島後の特別支援学級、交流小学校、保育所、卒業生等参加)
- ・隠岐養護まつり(学習発表や作業製品の販売)
- ・みんなでつくる発表会(劇、踊り、演奏等学習成果の発表。島内の福祉施設とともに実施)
- ・岐楽市(地域の大型商店での作業製品の販売会)
- ・現場実習(事業所や福祉施設での職場体験学習)
- ・宿泊学習(山登り、マリンスポーツ体験等)
- ・隠岐島内の県立高校文化祭等への参加

○児童生徒会活動

全校の児童生徒が個々に役割をもって委員会活動に取り組んでいます。また、執行部を中心に運動会やまつりでみんなが楽しめる活動を企画・運営しています。

○部活動

島根県特別支援学校総合体育大会(フットサル競技)に向けて練習に取り組んでいます。夏期休業中には強化練習会を行い、一層の体力づくりに努めています。大会終了後は、長距離走、バスケットボール等に取り組んでいます。



隠岐なかよし大運動会応援合戦



島根県立 松江清心養護学校

所在地 〒690-0864 松江市東生馬町11
 電話番号 (0852) 36-8720
 F A X 番号 (0852) 36-8738
 F A X 番号 (0852) 36-8751 (職員室直通)
 Eメール seishin-yogo@edu.pref.shimane.jp
 HPアドレス <http://www.shimamet.ed.jp/seishin/>

●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一障がい 1学級
 重複障がい 2学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 21名 (H28.5.1現在)

男子 13名 女子 8名

* 学校の特徴 *

学校教育目標

自立と社会参加を目指す
 心豊かな児童生徒の育成

◎自立

障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に、改善・克服し、自立と社会参加を目指す児童生徒の育成に努める。

◎希望

夢や希望を育み、自己実現に向けて日々地道に努力し続けることのできる児童生徒の育成に努める。

◎感謝

強く・明るく・おおらかに互いに感謝の念を抱き、豊かな情操を持った児童生徒の育成に努める。

高等部の目標

「積極的に社会に関わり豊かに生きようとする生徒の育成」



本校はからだの動きの不自由な生徒が学ぶ学校です。



●学習活動の様子

高等学校に準ずる授業に加えて、自立を目指し、一人一人の特性や障がいの状況に応じた自立活動を始めとする授業を行っています。

隣接する「東部島根医療福祉センター」と相互協力のもと、専門の機能訓練士（PT：理学療法士・OT：作業療法士・ST：言語聴覚士）と連携等を行い、自立活動の指導に取り組んでいます。

主な学校行事

体育祭



清心フェスティバル



修学旅行



施設・設備 学びやすく活動しやすい工夫と配慮がしてあります。

生徒が自立を目指し、のびのびと、心豊かな学校生活を送ることができるように配慮した環境



歩行訓練用の階段、手すり付きトイレ、温水プール、エレベーター、自立活動室等



島根県立 江津清和養護学校

所在地 〒695-0001 江津市渡津町772
 電話番号 (0855) 52-2613
 F A X 番号 (0855) 52-2614
 Eメール seiwayogo@pref.shimane.lg.jp
 HPアドレス <http://www.shimanet.ed.jp/seiwa/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

【肢体不自由教育】

普通科 単一障がい 1学級
 重複障がい 1学級

【病弱教育】

普通科 単一障がい 1学級
 重複障がい 1学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 12名 (H28.5.1現在)

男子 3名

女子 9名

* 学校の特徴 *

○教育目標

・児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を行い、社会性や豊かな人間性、主体性を育み、心身ともに健康な児童生徒の育成をめざす。

○高等部目標

・生徒が、社会や人とのつながりの中で、自分自身と向き合い、自分の課題を受け止めながら、主体的に学ぼうとする意欲を育てる。

○特色

・県西部の肢体不自由教育、病弱教育の拠点となる特別支援学校です。
 ・小学部、中学部、高等部を設置しています。
 ・周辺地域への教育相談を行っています。
 ・地域における特別支援教育のセンター的役割を担っています。
 ・医療機関に隣接しており、医療面、訓練面等で連携しています。
 ・生徒の実態に応じた進路指導を行っています。

●江津清和養護学校での学習

○教育課程

一人一人の障がいの状態を考慮して以下のような教育課程で学習をしています。

- ・自立活動を主とした教育課程(I類型)
- ・知的障がい者を教育する特別支援学校の各教科等を取り入れた教育課程(II類型)
- ・高等学校に準ずる教育課程(III類型)

○学校行事

清和サマーフェスティバル、学園祭、小さな巨匠展等、小学部から高等部までの全校児童生徒が一緒に取り組んでいます。

○進路状況

進学や一般就労、事業所利用等、生徒一人一人に合わせて実習や体験等を行いながら進路先を決定していきます。

○通学について

家庭から通学する生徒や隣接する医療機関から通学する生徒がいます。

○訪問教育について

登校することが難しい場合は、自宅や病院に教員が出向いて学習しています。

○入学について

本校高等部に入学を希望する場合は、就学相談会への参加と入学者選抜検査の受検が必要になります。(詳細の問い合わせは本校まで)



教科学習(III類型)



島根県立 松江緑が丘養護学校

所在地 〒690-0015 松江市上乃木五丁目18番1号
 電話番号 (0852) 23-9500
 F A X 番号 (0852) 23-9517
 E メール midorigaokayogo@pref.shimane.lg.jp
 HPアドレス <http://www.shimanet.ed.jp/midori/>



●設置学科 学級数 (平成28年度第1学年の学級数)

普通科 単一障がい 1学級
 重複障がい 2学級

※平成29年度の設置学科・学級数は、12月に発表。

●高等部生徒数 18名 (H28.5.1現在)



* 学校の特徴 *

本校は、病弱教育特別支援学校です。身体や心に様々な病気のある児童生徒のための学校です。「小学部」「中学部」「高等部」の3つの学部があり、児童生徒の実態に合わせて教育課程や学習形態を工夫しています。

(1)教育目標

- ①病弱虚弱による様々な困難を改善・克服し、心豊かに生きる児童生徒を育てる
- ②人間尊重の精神を基盤に、自己を大切にし他者を思いやる心を持つ児童生徒を育てる
- ③自己の能力と可能性を伸ばし、自立と社会参加を目指す児童生徒を育てる

(2)本校のめざす児童生徒像

- 自分を大切にする人
- すすんで行う人
- 助けあう人

(3)教育課程の工夫と特徴

生徒の病気や障がいの種類、状況は様々です。教育内容を一人一人の実態に適したものにするために個別の指導計画を作成し、必要な工夫や配慮をしています。教育課程は大まかに以下のように設定しています。

- A型**……高等学校普通科に準ずる教育課程で当該学年の内容を学習します。
- B型**……高等学校普通科に準ずる教育課程で下学年の内容から学習します。
- C型**……知的障がい特別支援学校の各教科や自立活動を中心とする教育課程で学習します。

「産業社会と人間」や「職業」の授業を通して、社会人としてのルールやマナー、働く力の向上に取り組んでいます。また、就労に向けた現場実習にも取り組んでいます。生徒一人一人が主体的により豊かに生き、自立を目指していくための自立活動の学習も行います。

(4)学校行事

Smileフェスタ(運動会)、みどりが丘まつり(文化祭)など多くの学校行事を小・中学部と一緒に実施しています。

(5)進路支援

生徒一人一人の状況に合わせた進路支援を行っています。卒業生は専門学校、一般就労、福祉就労等の幅広い分野に進んでいます。卒業後のサポート体制も本校在籍中から進路相談会などを通して考えていきます。

